

つがる市議会だより

平成29年 第4回(12月)定例会 第55号 平成30年2月発行
の内容をお伝えします

おらほの新米さん

子どもの頃からの夢が叶って…

—木造地区の新米保育教諭—



今年度から銀杏ヶ丘こども園に勤務して
いる保育教諭の濱山夢美さんです。

つばめ組(1歳児)を担当し、

①いつも笑顔でいること

②廊下を走る子に対しては「走らないで」
など否定の言葉より「歩こうね」と肯定的
な言葉がけをすること

を大切にしています。どのようにしたら
子どもたちが喜んでくれるか、悩みながらも
明るく仕事に励んでいます。

<平成29年12月6日撮影>

目次

- 2 定例会の概要
- 3 農業委員会委員36名が同意されました
- 4~7 一般質問 8議員が市政を問う
- 8 予算特別委員会の概要
- 9 総務常任委員会レポート
- 10 教育民生常任委員会レポート
- 11 経済建設常任委員会レポート
- 12 クールつがる

平成29年第4回 つがる市議会定例会

会期12日間 12月4日～12月15日

今定例会の議案は 市長提出議案・・・18件
 議員提出議案・・・1件
 諮問・・・・・・・・・・1件

※各議案は原案のとおり可決・承認となり、諮問は適任とされました。
 全ての議案名は市のホームページで確認することができます。

議案の中から下記をピックアップ。その内容をお伝えします。

施設	施設の区分			金額 1カ月当たり
	食材供給施設	物産・展示 即売施設	農産・加工品 直売施設	
生産物直売・ 食材供給施設	14万円	10万円	4万円	
伝統文化等 保存伝習施設			10万円	
農産物直売施設 (新設)				16万円

施設使用料

森田地区にある「道の駅アースストップ」に農産物直売施設を設置したことに伴い、施設使用料の適正化を行ったものです。

1
道の駅アースストップに隣接して
農産物直売所がオープンします
(平成30年2月1日予定)

議案第87号 つがる市道の駅アースストップ条例の一部を改正する条例案

諮問

諮問第3号

◎人権擁護委員

次の方が適任とされました。

平 田 昌 子 (再任・木造)

任期

平成30年4月1日から

平成33年3月31日まで



春には苗などが正面に並ぶ



明るい施設内

道の駅アースストップ
農産物直売施設を視察
【平成29年12月15日】

定例会閉会后、議員団は森田地区にある「道の駅アースストップ」農産物直売施設を視察し、担当課の説明を受けました。
 平成30年2月1日のオープンに向けて準備を進めています。議員からは、施設の設備についてなど質問が出されました。

議案第89号 つがる市農業委員会委員の任命につき同意を求めるの件

2

農業委員会委員が同意されました
(定員36名)

氏名	性別	住所
鎌田 誠	男	森田町大館
成田 正人	男	木造千代田
乳井 春光	男	木造林
秋田谷 廣次	男	木造千代田
杉森 広宣	男	木造桜川
新岡 亮	男	木造吹原
葛西 勝久	男	木造豊田
三橋 弘	男	木造菊川
成田 金春	男	木造出来島
横山 治彦	男	木造館岡
長谷川 秀樹	男	木造越水
藤本 正彦	男	木造善積
稲葉 武彦	男	木造鶴泊
對馬 泉	男	木造永田
長谷川 幸	男	木造越水
吉田 秀美	男	木造越水
山本 康樹	男	木造芦沼

任期は平成30年2月11日から
平成33年2月10日まで

氏名	性別	住所
浅見 春樹	男	森田町床舞
今 輝義	男	森田町上相野
盛 行春	男	森田町下相野
金 澤昭雄	男	柏広須
神 文敏	男	柏桑野木田
工 藤 育江	女	柏広須
菊池 昭二	男	柏下古川
工 藤 しのぶ	女	稲垣町福富
齊 藤 鉄男	男	稲垣町穂積
笠 井 正己	男	稲垣町千年
成 田 清繁	男	稲垣町沼崎
福 井 清光	男	稲垣町穂積
福 井 二三夫	男	稲垣町穂積
工 藤 幸	男	車力町若林
羽 場 晃	男	豊富町千貫
野 宮 富喜子	女	豊富町千貫
工 藤 正樹	男	牛瀨町大田光
工 藤 恒実	男	牛瀨町村上
小山内 壽	男	富范町屏風山

※詳しくは市のホームページをご覧ください。

議員発議

「道路整備予算の拡充及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書案」を全会一致で可決し国会へ意見書を送付

発議第5号

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定により、社会資本整備総合交付金事業等の補助率にかさ上げし交付されてきたが、この特別措置は平成29年度までとなっている。

津軽自動車道「柏～浮田」間の整備に全力を挙げ取り組んでいるこの時期に特別措置がなくなれば進捗の遅れを招きかねず、市の道路整備事業においても財政負担が増加し、地域活性化のためのほかの事業にも悪影響を及ぼすことから、道路整備の予算確保と補助率のかさ上げ措置の継続を強く要望する。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



なりた かつこ
成田 克子
ほうせいかい 芳政会

問 インターネットによる議会中継は、自宅に居ながら傍聴ができることで好評だが、聴覚障害者も視聴できるように、手話通訳者を配置すべきではないか。

答 本市の聴覚・平衡機能障害の手帳交付者は200人おり、非常勤職員の手話通訳士1名を配置し、そのほか登録手話通訳者9名を確保しております。活動内容は医療機関の受診、市役所など公的機関での手続、就労関係が主で、活動地域は市内および近隣市町のほか、必要に応じて青森市、弘前市へ派遣する場合もあります。今後、聴覚障害者が、議会の傍聴を希望し、手話通訳者を必要とする場合は、議会側と調整を行ったうえで対応したいと考えております。

問 テロップ(字幕付き)画像の配信はしてはどうか。

答 テロップ画像配信については、有効な施策と考えますが、システム改修等が必要となるため、議会側と協議し、対応を検討します。

問 市民にも手話を普及させ、聴覚障害者を社会全体で支え、共に生きて

●議会中継における手話通訳者を配置すべきでは
●健康づくりセンターの利用拡大を

いける環境整備のため手話言語条例を制定しては。

答 県内では黒石市のみが制定しており、県や近隣市町村の動向を見据えながら、検討したい考えです。

問 健康づくりセンターの体制を充実させてほしい。

答 建設当初は職員の常駐を想定していませんでしたが、市民がより気軽にセンターを利用できるよう、職員の常駐に必要な業務環境を整備し、平成30年1月から平日は保健師が常駐可能となります。

問 土・日曜日の開所はできないものか。

答 仕事などで平日利用できない方を対象に健康相談や一般市民向けの運動教室を考えており、平成30年4月実施にむけ、現在体育協会と協議しているところです。



はせがわえいこ
長谷川 榮子
無所属

問 過去にも丸山蓮花田線の防雪柵設置を要望してきたが、冬期間の調査は行ったのか。

答 市道丸山蓮花田線は、冬期間は風雪により見通しが悪く、年に数回交通障害が発生し、除雪作業にも困難が生じております。平成28年度基礎調査を実施し、東西に走った路線に対して風向きが6度〜30度の角度で斜交していることから、防雪柵の効果が弱いと判断されるため、今年度12月から3月の間、観測箱(2力所)を設置し、設置箇所の検討及び形式を含めた詳細な調査を実施する予定です。

問 防雪柵設置の予定、計画は。

答 今年度実施する調査結果を踏まえ、平成31年度から5カ年計画で国の補助事業(社会資本整備総合交付金事業)で工事の実施を考えております。

問 防雪柵が必要と思われる箇所は全部でいくつあるか。

答 要望のある箇所は6カ所あり、整備には総額およそ7億7000万円かかるの見込んでいます。

問 つがる市で予定している「あおり10市大祭典」の開催時期と見込んでいく考えです。

●丸山―蓮花田線への防雪柵の設置を
●あおり10市大祭典の準備体制は

でいる観光客数は。

答 平成31年9月21日(土)・22日(日)を予定し、過去に開催した五所川原市では17万人の観光客があったため、同程度になると見込んでおります。

問 宿泊施設の受け入れ態勢は整っているか。

答 市内の宿泊施設6カ所すべてを利用した場合、360人収容できますが、各市の関係者(300人ほど)が優先されるため、一般の観光客の宿泊は難しいと考えます。そのため、五所川原市など近隣の宿泊施設も利用することになると思います。

問 市の準備体制はどうか。

答 平成30年度から駐車場の確保や会場の配置など本格的に準備を進めてまいります。大型ねぶたなどのパレードができ、物産販売やグルメブースの開催が可能な「イオンモールつがる柏」駐車場周辺での開催を考えております。

問 ビジネスホテルを誘致する考えはあるか。

答 ビジネスホテルの誘致に関しては、十分必要性を感じているため、検討していく考えです。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。

問 人数は。この事業によって転入してきた人数は14件、人数は51人となっております。

事業内容	前年度	今年度
◎結婚支援事業によるカップル成立組数	2組	14組
◎新婚生活応援事業	13件	7件
◎移住者マイホーム応援事業	3件	2件
◎子育て・若年夫婦世帯応援事業	0件	9件
◎民間賃貸住宅支援事業（今年度開始）		2件
◎空き家バンク事業（今年度開始）		1件（登録後売買）
◎新規就農者支援事業	1件（継続中）	
◎起業を希望する方を支援する事業	2件	2件
◎学校給食地産地消促進事業による農産物提供回数	6回	10回
◎ふるさと納税寄附金事業	約3,000万円	約1,300万円

◎地方創生拠点整備交付金を活用した「道の駅もりた農産物直売施設」の整備や国際化対応力向上事業などの各種事業も実施。今年度の数値は直近の実績。

問 地方創生関連事業の内容はどうか。左表のとおり。



ましんかい ざいしんかい 糾心会
さとう ざいしんかい 佐藤 孝志

- 地方創生事業の効果は
- 大胆な増子化対策を
- 小学校児童へ防災頭巾を

問 事業に対する評価は。目標を達成した事業がある一方、周知不足等から目標に至らない事業があったため、ホームページをリニューアルし、情報発信に努め、周知徹底を図ります。

問 毎年500人の人口減少があり、これを食い止める大胆な対策が必要ではないか。

答 現在実施している子ども医療費無料化や市民特別健診に関する基金がそれぞれ平成32年度、平成34年度に計画期間の終期を迎え、基金の財源である再編交付金が平成28年度で終了したことから、財源の確保が非常に厳しい状況です。各種事業の継続、縮小等を検証し、あわせて特に有効であると判断できる対策については、新たに組み込むことも可能と考えます。

問 市内小学校児童へ防災頭巾の導入をする考えはあるか。

答 現在、防災頭巾を導入しておりませんが、不測の事態に備え、現場での対応や費用負担など財政面も考慮しながら検討したいと思っております。

問 平成37年青森国体の開催にあたり、つがる市の選手が活躍する姿をイメージしているか。

答 地元選手が出場し、活躍することを期待しており、競技大会に出場する選手の育成にも尽力したいと考えております。



いつわかい だんなか 透
五和会 田中

- スポーツ振興における市の考えは
- 介護保険事業における市の対策は

問 指導者へ対する資格取得等の費用、通勤手当のほか、各チーム団体へ遠征費、練習用具購入費などの支援はできないものか。また、市が認めた「強化指定選手・団体」に対し、遠征費の加算をできないか。

答 議員提案の支援は指導者、選手へのバックアップになると感じております。市としても、何らかの支援策を講ずるよう検討したい考えです。

問 市内小中学校におけるボランティアの外部指導者数と指導者の資格要件等で大会などに出場できなかったケースはあったか。

答 外部指導者は、小学校25名、中学校16名、スポーツ少年団では67人おります。指導者の資格要件等で大会に出場できなかったケースはないと認識しております。

問 国では2025年には介護職員が30万人不足すると推定しているが、市はどのように考えているか。

答 介護事業所における介護職員確保については、大きな問題であると認識しておりますが、民間企業であるため、直接関与できる立場にはなく、国が決定する介護報酬の引き上げや補助金、補助事業などで対応しているのが現状です。今後も国の動向を注視しながら、介護職員の処遇改善や人材発掘育成などに関する事業の情報や介護事業者へ提供していきたいと考えております。

問 高齢者や障害者、子ども、地域住民が触れ合うことができる拠点を整備してはどうか。

答 市の高齢化率が35.5%となっており、ソフト面で介護、医療、老人クラブ、自治会などの各機関が連携し高齢者を支える地域づくりを進めているところですが、また、今年度から高齢者等が地域住民と触れ合うことができる場として、「認知症カフェ」を設置する事業所も出てきており、今後、拡大が見込まれております。

問 市内小中学校におけるボランティアの外部指導者数と指導者の資格要件等で大会などに出場できなかったケースはあったか。

答 外部指導者は、小学校25名、中学校16名、スポーツ少年団では67人おります。指導者の資格要件等で大会に出場できなかったケースはないと認識しております。

問 市内小中学校におけるボランティアの外部指導者数と指導者の資格要件等で大会などに出場できなかったケースはあったか。

答 外部指導者は、小学校25名、中学校16名、スポーツ少年団では67人おります。指導者の資格要件等で大会に出場できなかったケースはないと認識しております。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



まつはし しょうり
無所属 松橋 勝利

問 業者による砂利採取で市道が非常に汚れているが、どのような条件で使用を許可しているのか。

答 地元町内会長と市の関係各課で構成される土砂採取災害防止対策委員会で砂利採取業者へ車両通行許可書（一年更新）を発行し、次の条件を付しています。

- ① 交通に支障のないよう常に道路維持修繕に努め、一般交通の確保をすること。
- ② 防じん処理に努めること。
- ③ 道路舗装面で特にカーブの清掃に努めること。
- ④ 道路破損の場合は原形に復し、道路管理者の確認を受けること。

問題の箇所については現地確認し、道路の汚れ防止として採取現場に鉄板を敷くなどの措置をするよう指導しました。今後はパトロールを増やし、道路の整備に努めます。

問 道路の一部破損も見られる。嚴重に指導し、元に戻してもらいたい。

答 大型車の交通量が増えている状況から、さらなる道路の損傷が出てくることも考えられるため、春に現地調査し、業者による損傷であれば元の状態に戻してもらうよう徹底して指導していく考えです。

● 砂利採取業者に適正な指導を
● 風力発電計画の概要は

問 風力発電設備が至るところに建設されているが、詳しい説明を。

答 大型風力発電事業者から事業計画策定の要望があり、市では再生可能エネルギー基本計画を策定しました。現在2業者が平成32年4月供用開始にむけ、建設を進めています。農林漁業の健全な発展に資する取り組みとして売電収益の一部（20年間で22億円）が寄附されるほか固定資産税（20年間で小型1基当たり200万円、大型49基で58億円）の税収が見込まれています。

問 民家から騒音の苦情があるが、市で把握しているか。

答 市で把握しているのは、富海町の小型風力発電設備ですが、建設にあたり法令違反等はないため、運転を止めさせることは出来ず、事業者へ騒音対策をお願いをしたところです。2023年末の設備は、国・県の規制を受けなため、今後は事業者に対し、建設の際は住居から300m以上離し、建設予定地の隣接地の地権者と当該区域の自治会長から同意書を得ることなどを定めた一つが市小形風力発電設備建設に関するガイドラインを遵守するよう指導してまいります。



さいとう わたる
無所属 齊藤 渡

問 8月に設置した農作物被害対策会議で把握している被害状況は。

答 天候不順により設置した農作物被害対策会議は、作柄が平年を上回ったため、10月26日解散しました。水稲共済への被害申告状況は、左記のとおり。

申告のあった被害状況 (件)

地区	主食用米	飼料用米
木造	383	42
森田	13	0
柏	9	4
稲垣	213	71
車力	69	6
合計	687	123

問 平成30年以降の生産調整への取り組みの内容は。

答 国の数量配分はなくなりますが、米の需要などの情報提供を受けた県再生協議会が農協や集荷業者の販売見込みから数量配分を設定し、市に提供します。稲作農家の経営安定には米価の維持が必要不可欠であり、生産数量目標を遵守するために互助金制度を継続すべきと考えております。農家への周知を図るため、12月25日からの3日間、各地区で生産調整に関する説明会を実施する予定です。

● 農作物被害対策会議のその後は
● 生産調整への取り組み内容は
● 未相続農地はあるのか

問 稲わら収集に関する交付金の受給要件は。

答 稲わら収集などの水田活用支払交付金の要件は、飼料用米生産ほ場の稲わらを飼料とすることとし、収集量の定めはなく、すべて収集されるものと考えております。

問 相続が行われていない未相続農地はどのくらいあるのか。

答 水田面積は1万1300haある中で約900haが未相続農地で、そのうち355haが担い手へ貸借され、残りは所有者の後継者が耕作している状況です。

問 未相続農地の点在は、農地の集約化を進める上で大きな障害要因となっているが、何か有効な手立てはあるのか。

答 売買等の所有権移転登記ができず、貸借しか方法はありません。数年後には全国の未相続農地が九州とほぼ同じ面積になると予想され、国でも喫緊の課題とし、法整備に着手しております。農業委員会では動向を見守り、随時対応していきたい考えです。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



芳政会 三上 芳洋

問 人口流出対策として、企業誘致専門の部署を立ち上げるべきでは。

答 11月、関係職員による、つがる市企業誘致検討委員会を設置し、誘致に向けた課題や具体的な対策について検討を行っております。

問 岩手県北上市の先進事例を実践し、一定の軌道に乗った後、市の自主性を出すべきと考えるが。

答 北上市は企業立地の担当部署を新設し、年間120社ほどの企業訪問を実施しながら従業員の住宅や生活環境の要望に定めるなど対策を講じた結果、188社を超える事業所を誘致した成功事例として高く評価しています。他団体の成功事例なども検証し、市ならではの自主性を念頭に入れながら企業誘致を進めてまいりたいと思います。

問 北上市との人事交流はできないか。

答 人事交流は、双方の自治体でメリットが要求されるもので、相手側の意向も考えられます。より効果的な国県の上級機関との人事交流や実務研修などを視野に入れながら検討したいと考えております。

問 首都圏に駐在員の配置はできないか。

● 企業誘致に力を入れては
● 「太宰治」の父親の実家を
観光資源にできないものか

答 首都圏において、市にゆかりのある「津軽まほろば会」役員につがる市応援隊員として、ブランドのPRや企業誘致に関する情報収集などをお願いしています。今後、情報の発信・収集の拠点整備なども前向きに検討したい考えです。

問 無期転換ルールが平成30年4月開始されるが、市内の労働団体に制度周知などしているものか。

※無期転換ルールとは：有期労働契約が反復更新されて通算5年を超えたときに、労働者の申込により無期労働契約に転換される。

答 青森労働局等ではホームページやチラシなどで周知し、市でも広報への掲載や庁舎1階のロビー、商工観光課にチラシを置いて周知を図っております。

問 小説家「太宰治」の父親の実家を市で買い取り、看板を立てて、観光資源にできないものか。

答 建物がなく更地の状態なため、私有地の買い取りは考えておりません。土地所有者の許可が必要ではありませんが、当時の写真などがあれば説明文を添えた看板の設置は可能だと思います。



芳政会 伊藤 良二

問 市立図書館の入館者数の動向を教えてください。

答 平成28年7月29日オープンし、2カ月足らずで入館者10万人を達成、平成29年11月19日には40万人を突破しました。市外からの視察、取材など多数の申込みもあり、関心の高さがうかがえます。



問 利便性向上のため、コミュニティバスを考えては。

答 現在計画はありませんが、図書館利用に限らず、病院への通院、買い物弱者の方々の利便性を考慮し、市当局と連携して検討する考えです。

問 建設予定の総合体育館ではスポーツ以外の利用を考えているのか。

答 基本構想策定の準備段階ですが、管理運営には利用率の向上を第一に考えており、維持管理のため収益を上げることも考慮すれば、スポーツに限らずイベントなどの使用にも対応すべきものと考えます。

● 図書館利用に際し「コミュニティバス」を考えては
● 市の空き家対策は

問 空き家が多く見られているが、市の現状は。

答 平成27年8月の調査で空き家が297軒、うち倒壊の危険性があるもの24軒、庭木等の管理不全による害虫の発生など近隣住民の生活環境に影響のあるものが30軒程度確認されています。

問 市の空き家対策は。

答 危険な状態の空き家等があれば空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、家の所有者、管理者の特定をするために課税・戸籍の情報などを調査し、建物等の適正管理を促しています。そのほか、次の取り組みを行っています。

- ① 固定資産税の納税通知書に空き家を放置することのリスクについて注意喚起した文書を添付。
 - ② 定住自立圏2市4町で空き家バンクを設置し、売買・貸借のできる空き家を登録、また、購入・賃借希望者へ紹介。運営は圏域の自治体と協力事業者が連携。（市では1件の登録後売買あり）
- 空き家については、所有者の死亡、行方不明、相続の未手続等の理由で対応に時間を要しますが、今後も問題解消のために取り組んでいく考えです。

予算特別委員会

二十九年度補正予算の内容をお伝えします

とPRRをしては。



委員長
高橋 作藏

議案第82号
平成29年度つがる市一般会計補正
予算（第5号）

りんご経営安定対策
事業補助金
379万4千円

佐々木 直光 委員

この事業に加入しているりんご農家の数は。

この事業は、りんごの販売価格が一定基準を下回った場合、生産者の加入面積に応じ、造成額の範囲内で補てんするもので、加入者数は84名、加入面積は9370ヘクタールとなっている。

加入者数が少ないことから方が一に備え、加入促進のため

今後もしりんご農家に対して加入促進を図っていきたいと考えている。



長谷川 榮子 委員

現在柏分庁舎にある農業委員会を市役所に移転できないか。

市民サービスの向上を図るため来年度から実施できるように検討している。

スクールバス購入費
△2602万3千円
スクールバス運行業務委託料
195万1千円

内容を詳しく。
松橋 勝利 委員

森田地区の小・中学生が冬期間利用する中型バスを購入するため予算計上していたが、納車されなかったことによる減額と、そのことよって発生したバスの委託料を増額したものの。

風向調査業務委託料
269万円

松橋 勝利 委員

この事業の計画内容は。

丸山―蓮花田線の防雪柵設置にかかる詳細な調査をするもの。防雪柵設置の実現に向け、今年度調査し、平成31年度からの事業着手を考えている。



風向調査機器

広域委託保育所運営費
834万4千円

成田 博 委員

内容の説明を。
保護者の勤務地が近いことな

どの理由で市外の私立保育所等へ入所している児童に関わる運営費を支出しているもの。増額になったのは、処遇改善の加算分が積み増しされたことに加え、単価の高い未満児が増えたことによるもの。



病後児保育事業委託料
△640万1千円

成田 博 委員

減額となった理由は。

現在行っている柏地区のほか、民間保育所による病後児保育事業の新設・運営の計画があり予算計上したが、専任の人員配置や児童の静養・隔離等の部屋の確保など条件が整わず、事業の実施ができなかったもの。また要望があれば検討する考えである。

◆総務常任委員会 視察先：静岡県藤枝市、千葉県鋸南町（10月24日～26日）

【静岡県藤枝市】職員の人材育成について

本市が誕生した当時の職員数は768人おり、職員定数適正化計画によって今年度当初までに348人の削減を行ってきたが、膨大な情報化社会の下、職員の人材育成は不可欠であるとする。

なぜなら、①人口減少対策などの課題、②高まる住民ニーズ、③地方分権等により求められる高度な知識習得、などの問題に対応するのは職員だからだ。

藤枝市では「日本一の職員づくり」を目標に掲げ「新・人財育成基本方針」を策定し、以下の先進的な取り組みを実践している。

主な取り組み

1. 若手職員によるプロジェクトチームを結成、政策提言・実践、課題の把握、モチベーションアップ、職員間の連携を図っている。
2. 新規採用後10年間で、管理・窓口・事業の各分野へ配置、行政全般の基礎知識を習得させた後、希望する課等への配置によりスペシャリスト育成を図っている。
3. 管理職による人財育成のフォローアップにより、職員間のコミュニケーションがとれたスムーズな業務遂行、健康状態や悩み等の把握をしている。
4. 職員自身が理想とする職員像を目指すためのキャリアデザインを作成させている。

【千葉県鋸南町】「地方と都市の交流を育む拠点」について

本市では、小・中学校の統廃合による空き校舎のほか、空き施設、空地の管理をしていることから、「公共施設等総合管理計画」を策定し、有効活用の検討をしている。

鋸南町では、都市への主要道路が整備されており、その利点を生かし人口減少対策の一環として、農林水産業の6次産業化、町の観光や食の情報等を提供しながら都市と農山漁村の交流活性化の拠点を目指し、空き校舎を再生させた「道の駅保田小学校」を新たに整備し地域活性化に取り組んでいる。

施設概要

1. 教室を活用（①インターネット環境完備の宿泊室②飲食店③お土産店④サークル活動への提供）
2. 屋上を簡易銭湯にし、体育館を直売施設にしている。

効果

当初見込んだ数億円の倍以上の収益（来入者60万人）と61人の雇用を生んでおり、休日になると大型バスが20台程度乗り入れている。開業当初は直売所の品不足が発生したが、会員（農家）が増加したことで、量、品揃えを解消している。また、建築関係大学の協力を得て、業者の公募、プレゼンテーション、プロポーザルを実施。全国からの応募により、町の構想にあったものができたとのこと。しかし、地域の特性等、様々な視点で検討した結果、有効な方法がない空き施設は計画的に解体、撤去をしていくことも必要ではないかと考える。



藤枝市役所にて



空き校舎を利用した道の駅 保田小学校



屋上に簡易銭湯、宿泊室のある道の駅 保田小学校

◆教育民生常任委員会 視察先：大分県別府市、杵築市（10月24日～26日）

【別府市】別府市総合体育館における国体に向けた施設整備とその後の利用について

別府市総合体育館は、スポーツ振興とスポーツを通じた観光客の誘致で市の活性化に貢献するため、平成15年に約43億円で建設された。平成20年の大分国体ではバレーボールの主会場となった施設であり、国体終了後の現在も全国規模の大会が開催、毎週土日にも試合が入っているなど大変活用されている。これは宿泊施設の充実や交通の利便性が良いなど試合会場としての条件が整っているからだと感じた。ただ、施設内は年数経過とともに修繕箇所も増え、年間5,000万円ほどの修繕料が計上されているほか、平成33年頃には大規模改修（概算約10億円）を予定しているとのことであり、将来を見据えた財政計画を組む必要性を感じた。

また、市民の健康づくりに対する意識を向上させるための各種事業の継続的な取り組みや健康運動士などの資格をもった指導者の育成といったソフト面にも力を入れていくことが重要だとわかった。今後の本市の体育館建設を考えていくうえで大いに参考となる視察であった。



別府市総合体育館

【^{きつき}杵築市】癒しのスポーツ合宿施設「^{かむら}上村の郷」及びスポーツ合宿等補助制度について

上村の郷は、地元住民で組織するNPO法人「上村の里」が指定管理者となり運営している。当施設はスポーツ振興や健康増進の目的もあるが、地域住民が協力し運営することで地域の活性につながっているのが強く感じられた。合宿等補助制度は、今年度より利用対象を大学生までに拡大したことに加え、合宿コンシェルジュを専門に配置し、合宿利用がスムーズに行われるようになったことが利用者増加につながっていると思われる。



上村の郷の前にて

また、当施設は隣に閉校となった小学校の体育館もあり屋内外の競技を問わず利用できることと、近くにインターチェンジがあり交通の利便性が良いことも関係していると思った。杵築市では、地域住民の想いと市の考えがうまく重なったことで連携もとれ、誘致への取り組みがより進んでいるように感じる。当市においても、杵築市のように今ある施設や環境の中で取り組める方法があるように思う。今回の視察を参考に当市の活性化につなげていきたい。

◆行政視察来庁

【視察テーマ：つがる市立図書館について】

10月26日：群馬県藤岡市議会（教務厚生常任委員会）8名

11月 2日：北海道帯広市議会（会派）4名

【視察テーマ：胃がん撲滅検診事業について】

11月10日：愛知県尾張旭市議会（会派）3名

視察では開設に至った経緯や経費、指定管理者についてなど担当者が説明し、活発な意見交換が行われました。



図書館内を見学する藤岡市議会議員

◆経済建設常任委員会 視察先:鹿児島県指宿市、南九州市(11月8日~10日)

【指宿市】いぶすき農業支援センターの取り組みについて

いぶすき農業支援センターは、農業に関する相談の一元化、関係機関の協力体制の整備による業務のスピードアップなどを目的とした市(農政部)、農業委員会、JA(営農指導員)、県(営農指導部門)によって構成された農業機関である。

ワンフロア化により、担い手育成や農業経営に関することなど、市・県・JA三者で連携してサービスの提供ができ、特産であるマメ類のイベントを開催し、三者共同でPRと地産・地消の取り組みを展開。作付調査・被害調査・病害虫に関する調査などにも迅速に対応し、県と市の職員の交流が頻繁にあることで意思の疎通が図られている。毎年30人近くの新規就農者を確保していることも、充実した連携体制を裏付けている。

本市にとって農業の活性化は地域経済の発展に重要なものであるため、非常に有益となる視察であった。



指宿市役所

【南九州市】知覧平和公園の管理について

知覧平和公園は、陸軍飛行場特攻基地のあった旧知覧町地区に、特攻勇士の英霊鎮魂と恒久平和を願い、昭和39年9月特攻平和観音像が建立され、隣接した7.5haを地区公園とした後、拡張を繰り返し現在23.2haの総合公園となっている。

主要施設として、多目的球場や陸上競技場などのスポーツ施設のほか、知覧特攻平和会館(資料館)などがあり、国内外から観光客が訪れるため、清掃、樹木に応じた剪定、土壌処理、薬剤散布を施し、トイレの洋式化、バリアフリー化、Wi-Fiスポットの整備をしていた。

きめ細やかな整備ができるのは、公園内にある知覧特攻平和会館の年間入館者数が50万人を越え、入館料の一部を平和基金に積み立てており、知覧平和公園内の施設整備に充てているとのことであった。

平成32年のかごしま国体では、ソフトボールの開催予定地であるため、さらに整備を進めており、小さい子どもからお年寄りまで休息、レクリエーション活動などが楽しめる公園となっていた。安全で安心な長く親しまれる公園づくりを目指しており、本市が当施設のような公園づくりは難しい状況にはあるが、本来あるべき公園の姿を見ることができ、大変参考となる視察であった。



知覧平和公園にて

6年生 一般質問を傍聴

12月7日、向陽小学校(校長 七戸 完三郎) 6年生48名が一般質問を傍聴しました。

社会科校外学習の一環として実施されたもので、2班で構成された児童たちは、第1席と第2席の質問に対し、熱心に耳を傾けていました。

議会は手続き不要でどなたでも傍聴できます。定例会日程については、ホームページをご覧ください。どうか、議会事務局にお問い合わせください。



クールつがる No.17

柏ミニバス スポーツ少年団の皆さん

■柏ミニバススポーツ少年団は、柏小学校の児童で構成されるミニバスケットボールチームです。男子は通算で3回目となる全国大会の出場が決まっているほか、東北大会に5回出場している強豪チームです。持久力が持ち味の男子チームと元気いっぱい男子に追いつけと頑張っている女子チームの皆さんをご紹介します。

つがる市のクール（良質なものを頑張っているひとetc）をジャンルを問わず随時紹介してまいります。

男子監督 成田 昌隆さん 女子監督 小関 修平さん

部員数 男子：18人 女子：22人
チーム目標 一致団結

今年度の成績
男子：全国ミニバス大会青森県予選優勝、東北電力旗東北大会ベスト8
女子：東北電力旗青森県大会ベスト8

展望
男子：すべての試合に勝ちたい。国体に出場したい。プロ選手になりたい。など
女子：県大会で優勝したい。国体に出場したい。など

監督から
体育施設の利用ができる環境と、保護者の全面協力が子どもたちの強さにつながっていると感じている。



パスを出す柏ミニバス

シュートを打つ柏ミニバス

編集室から チーム目標である「一致団結」のとおり、選手・監督・コーチ・保護者すべてが、勝って喜びを分かち合いたいと気持ちをひとつにしていました。子どもたちは大人になってもバスケットを続けたいと話し、7年後開催の青森国体での活躍にも大いに期待が持たれます。

11月	2日	東北市議会議長会理事会（仙台市）
	8日～10日	経済建設常任委員会行政視察（鹿児島県）
	9日	青森県市議会議長会定期総会（八戸市）
	13日	知事を囲む懇談会
	15日～17日	農業振興対策特別委員会行政視察（宮城県、岩手県）
	25日	つがるブランド推進PR活動（東京都町田市）
12月	28日	議会運営委員会
	4日	平成29年第4回つがる市議会定例会開会
	7日～8日	一般質問
	11日	予算特別委員会
	13日	経済建設常任委員会
	15日	平成29年第4回つがる市議会定例会閉会
1月	27日	農業振興対策特別委員会
	4日	つがる市新年祝賀会
	7日	つがる市消防団出初式
	19日	市議会だより編集委員会
	30日	農業振興対策特別委員会

11月～12月の市議会の活動の1部をご紹介します

議会中継を ご覧いただけます。

本会議などの様子をインターネットによるライブ中継、録画中継の視聴ができるようになりました。

つがる市議会 インターネット中継

次回定例会予定 3月

詳しくはホームページをご覧ください
ご閲覧いただくか議会事務局にお問い合わせください。

12月の編集室

市議会だより編集委員会

- 委員長 三上 透
副委員長 田中 良二
委員 伊藤 良二
佐々木 慶和
佐藤 孝志
長谷川 榮子
佐々木 敬藏

つがる市が誕生してから13回目の正月を迎えました。時代の流れとともにIT化が進み、パソコンやスマートフォンが生活の必需品になりつつあります。つがる市議会では少しでも多くの皆様に市政へ興味を持ってもらい、議会活動を理解していただくため、平成29年3月定例会から議会開会の様子をインターネットによるライブ中継や録画中継の視聴ができるようになりまし。

12月定例会でも市勢のさらなる隆盛や、市民の安全・安心を想う議論が行われ、その一般質問や審議内容などが中継されています。つがる市議会だより第55号を作成しましたので、インターネットによる視聴ができない方は特に、ご愛読いただけます。（佐々木慶和 記）